



住吉教会 2013年度テーマ

「殉教者の霊性を生きる」
—信仰刷新の年—

おもてなし

主日の聖書から—7月21日年間第16主日—

赤波江 豊 神父

日本語には「おもてなし」という言葉があります。よく「おもてなしの宿」とか「おもてなしの店」とか言って旅館や飲食店の宣伝文句に使われます。本来は気持ちよく安心してくつろいでもらうための接待を意味する言葉ですが、日本固有の接待の有り方とも言われています。でもこの「おもてなし」という言葉は聖書の中で単なる居心地の良さや親切を表すだけではなく、私たちお互いの関係をより豊かなものにし、神と出会う言葉として非常に重要なのです。アブラハムがマレムで3人の見知らぬ旅人を迎へご馳走でもてなしたとき、彼らは年老いたサラに子どもが生まれることを告げ、自分たちが神であることを告げました（創世記18:1~10）。またサレプタのやもめがエリヤをなけなしのパンでもてなしたときエリヤは彼女に尽きることのない油と小麦粉を与え、子どもを死から甦らせ自分が神の人であることを示しました（列王記上17:9~24）。さらにエマオに向かう二人の弟子が見知らぬ旅人を家でもてなしたとき、その旅人はパンを裂いて弟子たちの心の目を開かせ、自分がイエスであることを明らかにしました（ルカ24:13~35）。即ちもてなしは単なる居心地の良さや美徳ではなく、聖書は温かくもてなすことで主人と旅人の間に豊かな生命がもたらされることを教えているのです。教会の伝統でも、例えばベネディクト会系の修道会は旅人の中にキリストを見ることを教え、修道院を訪れる人を暖かくもてなしてきました。よい旅は出会いのある旅です。人生は旅であり、人生は出会いです。私自身もかつて何度もタイの山岳民族の村で貧しいながらも温かいもてなしを受け、帰るときには涙のプレゼントまでもらい、どこの村でも神が待っていてくれることを知りました。創世記のマレムの旅人は温かいもてなしを受けた後、1年後再びアブラハムを訪れることを約束し、そのときサラに男の子が生まれることを告げましたが、温かいもてなしを受けた人は再び元の場所に帰ってきます。子どもの頃教会で可愛がってもらって温かいもてなしを受けた体験のある人は、その後しばらく何かの事情で教会を離れ、放浪の旅に出ることがあっても必ず再び教会に戻ってきます。そしてそのとき、それまで以上に熱心な信徒になることがよくあります。教会での温かいもてなしを大切にしましょう。

教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で収入のある方です。不況等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため可能な限りのご協力をお願いいたします。 神に感謝 (赤波江 豊神父)

2013年6月度カトリック住吉教会評議会議事録

1 日時 2013年6月16日(日)11:00~12:00

2 場所 住吉教会第2会議室

3 内容

(1) 始めの祈りとことば 赤波江神父
いろいろな行事を前にして、心をひとつにして臨んで行きましょう。

(2) 議事

① 今後の日程確認: 追記

6月17日(月) 予定 祈念堂委員会。

司牧チームの会合も近く予定。

6月30日(日) 11:00 ホームページ委員会

7月21日(日) 15:00 「ふっこうのかけ橋」チャリティコンサート(神戸中央教会)

② 審議事項

ア. 教会学校キャンプ:

日時 7月24日(水)~25日(木)、西宮市立自然の家

費用 一人5000円(傷害保険料込み)

追記 赤字が出た場合、教会より補助する。以上承認。

イ. バーベキューパーティ:

日時 7月28日(日) 17:00 教会グラウンドにて

規模 全体100名、有料70名、司祭・修道者はご招待、

子供は無料とする。

出席依頼 東ブロックの司祭・修道者 赤波江神父より呼びかけていただく。

東ブロックの教会 議長より呼びかけ

住吉教会 ミサお知らせ、ポスター等で呼びかけ

会費 大人1000円、高校生以下 無料

事前にチケットを販売し、参加者数を把握する。

買出し 7月27日(土)の予定。準備スタッフ募ります。

炭 南側倉庫を確認すること

ウ. 敬老の日行事:

日時 9月15日(日) ミサの中で祝福。

パーティ ホームメイドなもので。準備担当 A地区。

公演 検討(昨年 人形劇、大変好評)

エ. ふっこうのかけ橋支援募金:

7月中に各教会で募金を展開し、地区評議会で取りまとめ
福島の子供たちと親たちがどのプログラムに参加するか、福島で検討中。

募金:①信徒に呼びかけ

②ミサゴ売り上げを拠出

③不足は教会補助。

チャリティコンサート会場でカンパ呼びかけ(入場無料)

オ. カトリック平和旬間メッセージ:

信徒に呼びかけ、教会でとりまとめ教区へ郵送する。

子供:教会学校、大人:社会活動チームが呼びかけ担当。

カ. 力障連大阪フレンドリー10周年記念行事:

9月8日(日)12:00 記念ミサ、

池長大司教司式

援助金送金:承認。

キ. ミサ時のオマリー神父様送迎:

何名かでチームを組んで担当する。六甲ザビエルハウスまで送迎する。

ク. ミサお知らせの原稿依頼:

議長まで、毎週金曜日夕方までに。

(3)終わりの祈り 赤波江神父

あなたの息を送ってください。すべてが新たになるように(2回唱える)。

追伸: 2013年バザー実施要綱:

氏家議長が「たたき台」を作成し、提案する。

委員長はNg副議長、Nb副議長の予定で、みんなで協力。

感謝献金について

私たちは誕生から始まって受洗、七五三、入園、入学、初聖体、堅信、入試、成人式、就職、結婚など人生の節目で神様からたくさんのお恵みをいただいています。このお恵みに対する感謝の気持ちを献金という形で神様に表すこともできます。あらゆる場で神に感謝をささげましょう。(赤波江神父)